

NEWS LETTER

2025.3.31
第7号

皆さん、お元気ですか？

編集発行：一般社団法人 福岡県言語聴覚士会 失語症サポート委員会
事務局：福岡市早良区百道浜3丁目6-40 TEL:080-1776-5108

事業7年目の2024（令和6）年度は例を見ない暑さが長く続きました。またさまざまな感染症が季節を問わず時折流行し、事業に参加して下さる方々の体調管理や感染症対策は、引き続き重要な留意事項でした。失語症の方も、支援者の皆さんも、事業スタッフも、研修や派遣に「無事に行き、無事に帰る」ことは、事業の最も大切なことですので、何かありましたら早めにお知らせください。お願いします。

失語症支援者養成事業は、新たに5名の受講者を迎えました。前年度よりひと月早く、集中講義をオンライン（6月）と対面集合形式（7月）で行い、その後コミュニケーション支援実習（通年、友の会・サロン）、外出同行支援実習（2月、**模擬実習：屋内、屋外パターン**）を実施しています。

登録支援者へのフォローアップ研修（12月）は、①事業経過と派遣例の報告、②交流会、③派遣の模擬演習で、「派遣に行ける研修」を目指しています。模擬演習は支援場面を想像しながらのロールプレイで、今回は**運転免許証返納手続き**でした。交流会はあつという間で、楽しく学び合えます。今後も毎年開催予定ですので、ご都合がつく方はぜひご参加下さい。

これまでの**養成事業を振り返り、受講年度別・地域別の登録人数一覧**をp2の上段に示しました。皆さんのおかげで少しずつ支援者が増えていますが、県内で広く派遣を利用して頂くには、受講者の減少傾向と、地域の偏り（福岡・北九州地区>>筑豊・筑後地区）が課題です。

派遣事業は今年度、個人11件と団体22件(36人)、計33件に46人の支援者を派遣しました（p2中段の表参照）。少しずつ積み重ねていますが、こちらも地域の偏り（福岡・北九州地区>>筑豊・筑後地区）があります。養成とのバランスを考えながらのニーズ掘り起こし・広報が課題です。

派遣の利用促進を目的とした広報としては、新たに「**派遣事業案内パンフレット**」を発行し、8月に福岡・北九州地区の回復期リハビリテーション病棟を持つ40病院に**送付**しました。「**これまでの派遣例**（p2下段参照）」と利用申請書類を冊子にし、**退院支援にかかわる関係者に「こういう場面で・こういう手続きで利用できる」と**知って頂ければと考えました。

失語症の方が安心して支援者と外出できるように事業を進めたいと思います。

今年度は「日本言語聴覚士学会(6月)」「指導者養成研修修了者の集い(7月)」「九州地区学術集会(3月)」で、福岡の状況・工夫・課題について報告しました。現状を整理し、関係者で共有し、他県に学び、知恵と協力を集めて一歩ずつ進んでいきたいと思ひます。

このニューズレターは、より良い支援と、支援に関わる人がつながることを願って発行しています

難しかった経験、良かったこと、工夫を共有しましょう スタッフにも声をかけて下さい **失語症サポート委員会一同**

P1:ご挨拶 2024年度の概要報告

P2:養成事業・派遣事業の状況(年度・地域別)

「-これまでの派遣例-」

(派遣事業案内パンフレット)

P3:会話支援のアドバイザー-合理的配慮の提供の義務化-
そこにいる方たちの協力も得ましょう

P4~5:2024年度 失語症支援・交流の場 状況報告

P5:失語症の日 全国イベント案内(4/26土,27日曜)

福岡県 失語症意思疎通支援者 養成事業 年度・地域別状況

(2025年3月末)

	受講開始年度別						計 (うち男性)	地域別			
	2018	19	21	22	23	24		福岡	北九州	筑豊	筑後
受講者	17	14	9	9	7	5	61	34	20	1	6
支援者登録	17	14	8	6	5	1	51(13)	28(8)	19(4)	1(1)	3
登録解除*	4	1	0	0	0	0	5(2)*	3(1)	2(1)	0	0
現在の 支援者登録人数	13	13	8	6	5	1	46(11)	25 (7)	17 (3)	1 (1)	3 (0)

*登録解除:県外転出など

減少傾向です



養成・派遣ともに
少しずつ
積み重ねています

平均 52.5歳
(27~87歳)

地域の偏りが
あります



福岡県 失語症意思疎通支援者 派遣事業 年度・地域別状況

(2025年3月末)

		年度別				計	地域別			
		2021	22	23	24		福岡	北九州	筑豊	筑後
利用者 登録数	個人	6	10	3	6	25人	12	12	1	0
	団体	1	1	0	2	4団体	2	2	0	0
派遣件数 (派遣された 支援者数)	個人	1	6	1	11件	19件(人)	16	3	0	0
	団体	0件	1件 (2)	10件 (20)	22件 (36)	33件 (計58人)	22件 (45人)	11件 (13人)	0	0
	合計	1件 (1)	7件 (8)	11件 (21)	33件 (47)	52件 (計77人)	38件 (61)	14件 (16)	0	0

「派遣事業案内パンフレット」より

※実際の送付分はA4横1枚に印刷しています

福岡県 失語症者向け意思疎通支援者 派遣事業のご紹介 -これまでの派遣例-

支援者が外出先での会話をお手伝いします

2024年7月版

病院受診への同行

- ・問診表の記入の手伝い
- ・治療内容・方法の要点筆記
- ・治療選択の支援
- ・服薬の説明



買い物支援

- ・携帯バッテリー交換・機種変更
- ・携帯電話下取りの手続き
- ・商品説明などの要点筆記
- ・店員とのやりとり



余暇活動への同行

- ・野球観戦への同行
- ・売店での買い物支援
- ・観戦時の会話
- ・移動時の支援



友の会での会話支援

- ・他者と会話時の橋渡し役
- ・会進行中の要点筆記
- ・バスハイクへの同行



不動産情報収集と関連手続き

- ・不動産業者との会話
- ・物件内覧への同行
- ・仮契約手続きの説明



自動車運転免許返納手続き 運転経歴証明書申請手続き

- ・各種申請書類記入の手伝い
- ・領収証紙購入支払い
- ・窓口担当者との会話



役所での転入手続き 身障手帳の申請手続き

- ・健康保険・年金などの住所変更
- ・窓口担当者との会話
- ・書類記入の手伝い



したいことはあるけど、1人では不安

派遣事業が支援できるかもしれません！

ご質問・ご相談などありましたらご連絡ください

一般社団法人 福岡県言語聴覚士会 失語症サポート委員会

✉ st.fukuoka.kaiin@yahoo.co.jp

☎ 080-8376-0847(留守番電話のため折り返し連絡します)

会話支援の (ワンポイント)アドバイス 7 そここにいる方たちの協力も得ましょう

派遣(同行支援)では、

- ①準備 (同封する準備シートなどでの情報理解・場面想定・身支度)を丁寧に行うこと
 - ②当日、利用者の様子を伺いながら、落ち着いてひとつひとつ支援することが基本です
- ただ実際には「準備していたつもりだけれど・・・」「どうしたら・・・」と迷う/困る場面もあるかもしれません。そのような場面では・・・



手続き・買い物など

障害者差別解消法の改正が後押ししてくれています
 気負わずに、「その場の担当者と協力して」支援しましょう

障害者差別解消法が変わりました!
令和6年4月1日から
合理的配慮の提供が義務化
 されました

- 合理的配慮とは
- ① 行政機関等と事業者が、
 - ② その事務・事業を行うにあたり、
 - ③ 個々の場面で、**障害者から「社会的なバリアを取り除いてほしい」旨の意思の表明があった場合に**
 - ④ その実施に伴う**負担が過度でないときに**
 - ⑤ 社会的なバリアを取り除くために**必要かつ合理的な配慮を講ずること**

改正後	行政機関等	事業者
不当な差別的取扱い	禁止	禁止
合理的配慮の提供	義務	努力義務 ⇒ 義務

※「意思の表明」には、
 障害特性等により本人の意思表示が困難な場合に、
 障害者の家族や介助者など、
コミュニケーションを支援する者が
本人を補佐して行う意思の表明も含まれます

障害のある人と事業者等との間の
 「建設的対話」を通じて相互理解を深め、**共に対処案を検討していくことが重要**

内閣府HPより引用(抜粋)

何かお困りですか? お手伝いしましょうか?

派遣では色々な場面で声をかけられ、心強く感じました

例えば・・・

お願いします

支援者

ゆっくりお願いします
書いたもの・資料を頂けますか?

- 重要!**
- ①支援者証、事業紹介チラシ(派遣書類に同封、右参照)を携行します
 - ②支援者の立場を、はじめに簡略に説明できるように準備しましょう
 例)(名札を示しながら)「失語症の支援者として福岡県から派遣されています、やりとりは ゆっくり お願いします」
 - ③利用者(失語症の方)、支援者、協力者(第三者)どの方も対等で相手の状況にも配慮し、感謝を示しつつ、堂々と依頼しましょう



他のサポートとしては・・・

- ◆事前にコーディネーターより、同種の派遣経験からの「助言」があります
- ◆OJT派遣(事業スタッフSTが同行し助言する派遣)も検討できますのでご相談ください
- ◆判断に迷う場面では、コーディネーター/サポート携帯への問い合わせもお願いします
 (申し訳ありませんが常時対応は難しく、留守電などの場合もあります)

迷った/困った/難しかったことも、貴重な経験として次に生かしたいと思えます
 ◆報告書提出、コーディネーターへのご報告でお知らせください

あすの会(ウェルとばた)

毎月 第2日曜日 午前



会話Pさん、意思疎通支援者さんが
会話をつなぎます

例会では、近況やテーマについてゆっくり話して
ゆっくり聞き合い、参加者はお互いに元気ももらっ
ています。今年度から例会にも支援者派遣を利用
し、会話パートナーやボランティアさんもいて賑わっ
ています。北九州市のイベントに歌で参加し、バス
ハイク(マリンワールド)や歌の会も楽しみました。
例会ブログはこちら ➡<https://andfuku.normanet.ne.jp/>

筍の会(小倉リハビリテーション病院)

奇数月 第2土曜日午後



意思疎通支援者さんにも
来てもらっています

昨年度の集合開催の再開後、参加人数や新規
の会員の方も増えた1年でした。また、今年度から
失語症者向け意思疎通支援者の派遣も利用を
開始しました。来年度こそは、会のみならずで外出が
できると良いなと思っています。

**集団言語リハビリ交流教室
(北九州市立障害福祉センター)**

第1・2・3 木曜日午前



2024年度はコロナ禍以降久しぶりにリストバス
を利用しての「社会参加体験事業」を実施し、若
松区の産直市場「海と大地」に出かけました。
バス車内での会話や地元の新鮮な海産物・野
菜等の買い物を楽しみました。

失語症サロン(ふくふくプラザ)

毎月 第3日曜日午前

サロンでは、月に1回、失語症のある人たちが集
まり、会話を楽しんでいます。また、ゲームなどのイ
ベントを通し、皆さんとの交流を深めています。2024
年度は、久しぶりに、バスハイクのイベントを開催
しました。サロンには失語症者向け意思疎通支援者
の派遣を依頼し、失語症のある人たちの会話を支
援してもらっています。



バスハイクで明太子道場へ行き、明太子を作りました

虹の会(福リハ友の会)

年4回 開催



今年度は4月、7月、10月、3月に定例会を
開催しました。皆さんの近況報告やゲームを行
いながら会話を楽しみました。当事業の実習生
の方にも、会話の架け橋となって頂きました。
また、次年度は年4回の定例会以外にも
『虹カフェ』の開催を検討しています！

**柳川失語症交流会
(柳川リハビリテーション病院)**

奇数月 第2土曜日午前



年6回皆さんと直接お会いして、近況を語らいま
した。チーム対抗のゲームでは、お一人ずつ考え
を出し合って、和気あいあいとした雰囲気でした。
定期的に関わり合いを持ち続けることで、ご家
族同士や失語症意思疎通支援者とも顔見知りと
なり、コミュニティづくりとして開催しています。

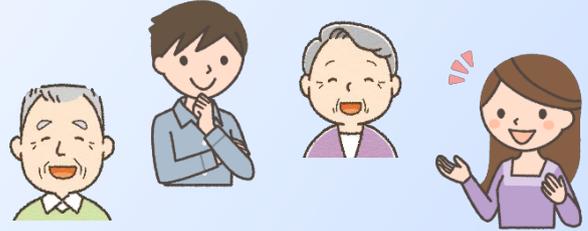
筑紫地区失語症友の会
あいたか(大野城市コミュニティーセンター)

隔月 第2日曜日 午前



みなさんはじめまして。新しく友の会ができました。春日市、大野城市、筑紫野市、太宰府市近辺を中心に活動しております。現在8名の失語症のある方が参加されています。定例会、外出支援など積極的に行って参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

今年度、新しい交流の場が筑紫地区に誕生しました！



実習・派遣で伺う以外にも、また行ってみたいと思ったら、スタッフに声を掛けて下さいボランティア参加を待っている場もあります。

失語症の方と会ってお話を伺い、暮らしの様子、楽しみや悩みを教えて頂くことは、支援にも必ずプラスになります。

2025年



最新情報は
こちらから！



第6回イベント(全国版)が
4/26土,27日に予定されています
主催:失語症の日実行委員会

今年のテーマは「仲間を募ろう！繋がろう！」
全国の「友の会・サロン・カフェ」の紹介もあります
(福岡の会も) ぜひご参加下さい！

4/26(土) 18時～

Zoomオンライン参加(視聴) (無料)
動画閲覧(当事者体験談)、交流会



4/27(日) 13:30～15:30

現地:福岡市中央区舞鶴会場 (参加費500円)
当事者体験談(動画閲覧)、会場での交流会など

参加ご希望の方は**事前申込**をお願いします
(左上の二次元バーコードから→Google Form入力)



★データ通信量=費用
にご注意下さい

・過去3年の失語症の日、福岡県では友の会をつないだオンラインイベントを開催しました。
★2025年度は、**県内の失語症の方、ご家族、関係者、支援者の皆さんが直接会って交流する集い**ができれば・・・と考えています。
皆さんの声を聴いて進めたいのでぜひご協力をお願いします。

